

機能区分		面積(㎡)	意見	答申に向けた考え方
行政事務機能		32,421	人口の減少にもかかわらず、職員数が大きく減少しないという想定は疑問を感じる。	必要な職員のスペースについては、確保が必要である。 行政事務機能の面積の算定に直接影響する、職員数の想定の方が疑問。 ※審議会として、職員数の見込みについて検討が必要。
			想定職員数をしっかりと定めるべき。	
			住民サービスは、支所に移っていくと考えられるので、職員数はさらに削減が求められる。	
			将来人口の減少を考慮する必要があるが、庁舎整備完了時には、職員数の大幅な変動は見込まれない。	
			福祉関係の部局は、現状で職員数が不足していると感じている。	
			市役所で働く人たちのスペースはしっかり確保してもらいたい。	
市議会機能		1,907	議会を市民活動のスペースとして使えるようにすれば良い。	
庁舎に求められる機能	市民活動・交流支援機能	500	市民活動・交流支援機能が500㎡しかないのは少なすぎる。	他機能との併用も視野に入れながら、市民のための面積を増やすよう求める。
	情報発信機能	90	情報発信機能は、現状の市政情報コーナーで十分。地元製品や観光情報を発信する場所は、庁舎内ではなく、観光客が多いところとすべき。	
	災害対応機能	290	多くの備蓄品を蓄える必要があり、災害対応機能は、最低限この規模は必要。	必要な機能を満たす面積を求める。
民間窓口機能	社会福祉協議会機能	400	社会福祉協議会は庁舎に必要だが、組織全体が必要かは疑問。	市民にとって必要な機能を精査し、最小限の面積とするべき。
	商工会議所機能	1,400	社会福祉協議会も商工会議所も、市民にとって必要不可欠な組織であり、庁舎内にある方が良い。費用面では、対価を払うことで解決すれば良い。	
			商工会議所は、一般市民にとってそれほど身近ではなく、必要ない。	
			商工会議所の研修室や会議室は、庁舎内の会議室を共有して使うようにし削減すべき。	
			商工会議所がなぜ1,400㎡も入っているのか疑問。	
利便施設機能		240		
全体規模		37,248	3万7千㎡は新庁舎に必要な面積であり、諮問資料の面積に基づいて進めるべき。 必要最低限の、コンパクトな庁舎とし、コストを抑えるべき。 規模は流動的なものであり、庁舎の整備を進める中で、規模の見直しをしていく計画とすべき。 行政と議会の機能に必要なスペースを確保し、付加する機能に必要なスペースについては、まちづくりのデザインと合わせて総合的に判断すべき。	諮問資料に示されている面積については、必要な規模と考えられるが、今後の整備の中でも必要な規模を精査しながら、コスト削減の取組について求める。

旭川市庁舎整備検討審議会第3回会議 意見集約表
 <⑤新庁舎の建設場所>

建設場所	意見
現庁舎周辺エリア	面積的に現庁舎周辺エリアが妥当ではないかと思う。
	面積の点, コストの点から, 有利である。
	交通アクセス, 利便性, 都市計画, 環境との調和など, 総合的な判断。
	仮設庁舎が必要になり, 市民に不便をかけるようなことにならないようにすべき。
	周辺に東高, 公園, 警察署, 三浦綾子さんゆかりの教会があり, 緑が多くて歩いていてとても心地のよいコースであり, こうした隠れた安らぎのスポットを大切にすべき。
	市民が利用しやすいところで, 交通の便がよく, 公共交通機関で行ける。
	コンピュータ等は仮設庁舎には移せないであろうから, 文化会館と一体に現庁舎周辺での整備が良い。
	市民文化会館と総合庁舎のあたりを一体化させて, このあたりの土地を使って建て替えるのがいい。
	庁舎は総合庁舎あたりとし, 買物公園に文化会館を, 北彩都には福祉施設を整備すると良い。
	議会の上が開いて空いているので, そこに建てれば良い。
	建替えの部分で仮設庁舎が必要な部分もあり, 現実的に建設途中のお金も考えながら進めていくのがいい。
	現在の庁舎跡は, 余裕があり, 何かあっても敷地自体の安全性が高い。バスなど乗り物の観点から見ても, 市民は不便に思っていない。
	職員がどこかにプレハブかなんかを借りるよりは, 第三庁舎を壊して, その跡に建てるのが適当ではないか。
	第三庁舎跡地に新庁舎を建て, 現庁舎を残して合わせて活用すべき。
	買物公園エリア
第二庁舎を活用しながら, 庁舎完成までは一部の部局を周辺の賃貸物件に配置すると良い。	
第三庁舎跡地が一番経費がかからなくていいと思う。	
中心部の発展の起爆剤となる。分散型の庁舎を置いて, 人の流れをつくと良い。	
交通の便が一番良く, 市民が利用しやすい。	
4条以北の中心市街地活性化に寄与する。	
商業軸としての買物公園と文化軸としての7条緑道の交点に市の基幹施設としての市庁舎があるのは, シティプランニング上からも大変魅力的なまちの姿になる。	
時間と手間がかかることを覚悟すべき。	
北彩都エリア	庁舎を建てたとしても, 活性化は難しい。フードテラスの際もそうだった。
	密集したところで道路も狭く, 災害対策的にも何かあったときに余裕がないスペースは苦しい。
まちの活性化と庁舎は別に考えていくべき。	
色々な観点から, 選択肢になり得ない。	
庁舎が建っても, 新しい市街地がここにできることが想定しづらい。	